

■高井几董 俳人。蕪村一派の中心人物として内外から認められ、夜半亭3世を継承するも、早世した。

たかいきどう

・・・・・・1741= 生。京都の人。

徳川吉宗隠居1745= 4歳：

__父几圭から俳諧を学び、

・・・・・・1750= 9歳：

徳川吉宗没・1751=10歳：

大忒政治批判1759=18歳：

大岡忠光没・1760=19歳：父几圭が死去、

久留米藩工事1768=27歳：

・・・・・・1770=29歳：__蕪村の夜半亭2世継承とともに蕪村の門に入り、頭角をあらわす。

田沼意次老中1772=31歳：*父几圭の十三回忌追善の意味をもつ処女撰集「其雪影」を刊行して世に認められ、

大原騒動・・・1773=32歳：__はじめて歳旦帳「初懐紙」を刊行し、自分の結社である春夜楼の存在を世に示した。蕪村、樗良、嵐山とともに「此ほとり」の四歌仙を巻き、蕪村一派の撰集「あけ鳥」を編纂。

解体新書・・・1774=33歳：__上京してきた暁台と交わるなどして他門にも知られるようになった。

雨月物語刊・1776=35歳：*「統明鳥」を編纂、蕪村一派の中心人物として内外から認められる。

・・・・・・1777=36歳：

意知刺殺事件1784=43歳：「から檜葉」「蕪村句集」「桃のしづく」成る。

蝦夷初調査・1785=44歳：「新雑談集」。*蕪村死去後、「統一夜松集」編纂のため江戸に下り、蓼太のすすめで夜半亭3世を継承した。

田沼意次失脚1786=45歳：「附合てびき蔓」「点印論」を編む。

寛政改革始・1787=46歳：「菊の宿」「統一夜四歌仙」刊。

・・・・・・1788=47歳：「遊子行」刊。__京都の大火に類焼してからは、門弟のもとを転々とし、

初の横綱・・・1789=48歳：「井華集」刊。伊丹の土川宅で__急逝した。